

県内では、今週に入り、1日500人近くの感染を確認するなど、感染者が急増。
1週間単位で見ても前週比約1.4倍となっており、第8波の入り口にさしかかっている。
今後、第7波を上回る感染拡大が生じる可能性に加え、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念される。
⇒**感染拡大を最小限にとどめる**ため、下記のとおり、**医療提供体制の強化、高齢者施設等への支援**を進めていく

1. 医療提供体制の強化

- **陽性者オンライン診療センター（旧名称：陽性者診断センター）の再開**
発熱外来のひっ迫に備えて、11月21日（月）再開予定
検査キットで陽性となり解熱薬などの処方希望される方に対して対応
- **発熱外来の体制強化**
発熱外来対応箇所数の増、診療時間の拡大など、1日の診療可能人数の拡充を依頼
- **入院協力医療機関の拡充**
患者急増時に備えて、入院協力医療機関の体制を強化（確保病床の拡充）

2. 高齢者施設等への支援

- **高齢者施設等の従事者に対する集中的検査を全県的に実施**
週2～3回の頻回検査を継続的に実施（11月末開始予定）
- **医療機関との連携体制の確保を支援**
感染者発生時に速やかに受診ができる医療機関との連絡体制整備をサポート
- **希望する高齢者施設に専門家の指導を実施**
感染拡大を防止するため感染管理の専門家を派遣し助言

新型コロナ・インフルエンザ同時流行時の外来受診・療養の流れ

《R4.11.17 健康政策部》

